



SleepWell

睡眠計測で他にはない強みを!

検査項目に、 メンタルヘルスの バイタルデータを!

わずか125g! 超小型脳波計登場!

医療機器認証番号:225ADBZX00020000

睡眠科学を手のひらに

スリープウェル株式会社

他のドックにはない検査項目を

ストレス過多の現代社会です。さらに、2015年12月の労働安全衛生法改正で従業員50人以上の事業者に対して、医師、保健師などによるストレスチェックの実施が義務づけられました。この背景もあって、自らのストレス改善やメンタル不調を気にする人の増加が見込まれます。現在、人間ドックでは脳ドックとして画像診断などが広く普及していますが、睡眠脳波検査のメニューはほとんどありません。私たちが開発した世界最小クラスの手のひらサイズの脳波計「スリープスコープ」は、誰でも場所を選ばず自身で計測でき、「睡眠自動解析システム」は、そのような市場の要望に応える事が可能な画期的サービスとなっています。

※28,000例以上の一般人睡眠脳波データ、及び20種類以上の疾患患者のデータを保有しています。性別・年代ごとの客観的比較も可能です。



睡眠検査結果のサンプル

初期投資は0円

私たちのシステムは、とても簡単に扱えるもので、宿泊型の人間ドックはもちろん、日帰りの人間ドックでも、事前に来院せずに、睡眠検査の実施が可能です。大がかりなスペースも必要ありません。初期投資もゼロです。

一般的な設備導入との初期費用比較

スリープスコープ: 0円
通常はレンタル。買い取りの場合は、30万円～(解析は除く)

MRI: 2億円～

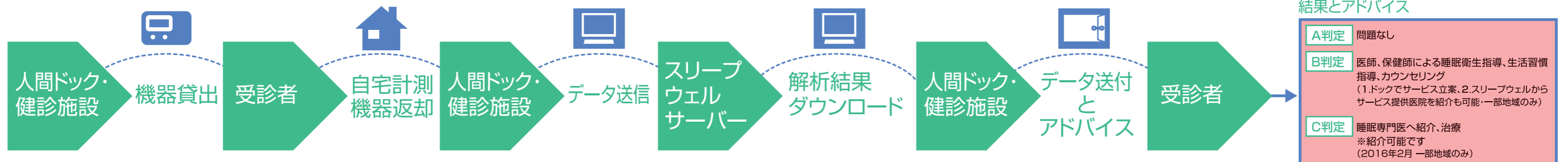
CT: 5000万円～

光トポグラフィー: 800万円～

専門の技師を必要としない

MRI、MRAなど高度設備を新たに導入すると、設備投資はもちろんですが、場合によっては、専門の技師を配置する必要もあります。新たに採用するとなると、採用コスト・人件費など、そのコストは膨大です。しかし、「スリープスコープ」は誰でも簡単に取り扱えるため、専門技師を配置する必要も新たに採用する必要もありません。

計測から診断までの流れ



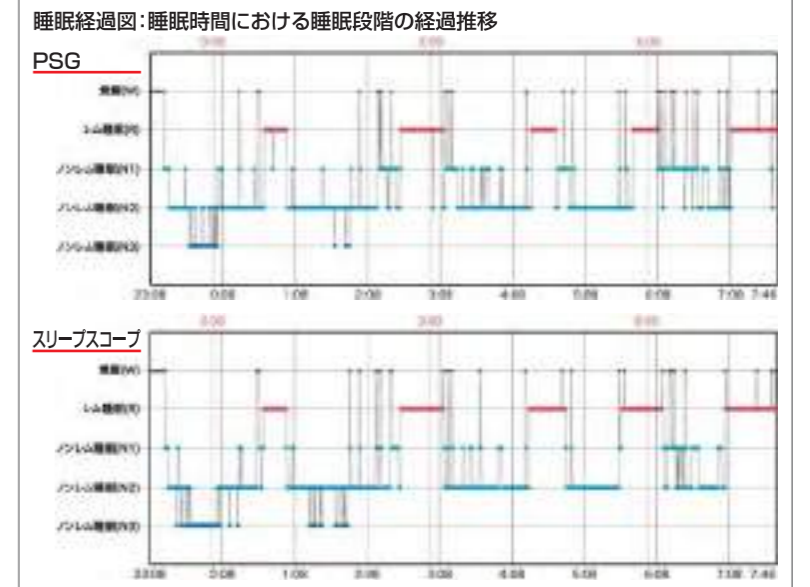
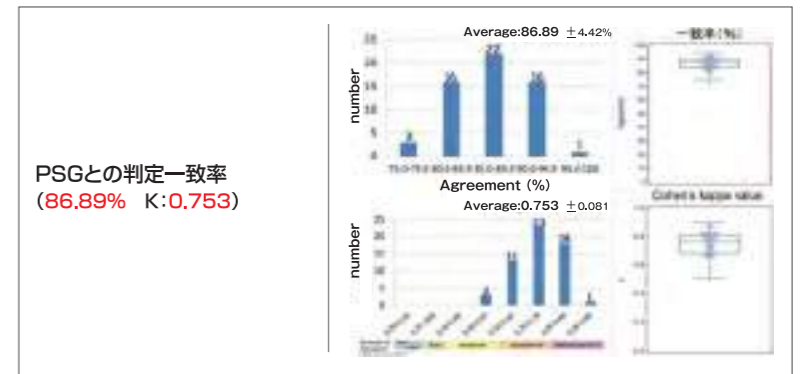
子どもからお年寄りまで、誰でも簡単に計測

スリープスコープは何よりも、操作性に優れている点が強みです。子どもから高齢者まで、装着も測定も患者様ご自身で簡単に操作できます。特別な講習やトレーニングの必要もありません。自宅に持ち帰り、日常の睡眠状態を誰もが簡易に計測できます。このシステムにより、睡眠に関する判定結果を個人に適切に伝えることが可能となりました。



精度は、大型の脳波計とほぼ同等

私たちが開発した「スリープスコープ」および「スリープスコープ睡眠脳波解析プログラム」は、計測した睡眠脳波を分析して、睡眠の質やリズムを正確・客観的に評価できる仕組みです。このシステムに関しては、正確な入院検査である終夜睡眠ポリグラフ検査(以下:PSG)と比較して、遜色のない解析結果(PSGとの判定一致率86.89%±4.42%)が得られることが特長で、高い信頼性が担保されています。PSGを実施するクリニックと被験患者に協力を得て、PSGとスリープスコープを同時に1500例超を計測。正確な検査結果(PSG)を頼りに、正確な結果を算出する仕組みを確立しました。



医療機器認証を受けた世界最小クラスの脳波計

「スリープスコープ」は、2013年2月にクラスII医療機器として認証された唯一の電池駆動の小型1ch脳波計です(認証番号:225ADBZX00020000)。小型なので誰でも場所を選ばず、自宅でも簡単に計測できるのも大きな特長です。また、睡眠を解析するプログラムは、2015年5月27日に、薬機法(旧薬事法改正)のもと、脳波計用プログラムとして、医療機器認証を得ました(認証番号:227ADBZX00087000)。

※2016年2月現在

▲PSG

- ◎脳波・筋電・眼球他、多くの生体信号を測定。
- ◎睡眠関連疾患の確定診断が可能。
- ◎病院での一泊入院が必要。

▲スリープスコープ

- ◎連続・長期間、また多人数の計測にも対応。
- ◎睡眠の状態を客観的に評価できる。
- ◎カンタン操作。自宅で計測が可能。

数々のマスコミに取り上げられました

〈新聞・雑誌〉

日経新聞、毎日新聞、産経新聞、日刊工業新聞、週刊新潮、東洋経済、日経BPなど、全国紙、雑誌、業界新聞に幅広く取り上げられています。

〈テレビ〉

おはよう日本(NHK)、ワールドビジネスサテライト(TV東京)、健康カプセル!ゲンキの時間(TBS)、ニュース深堀り(BS-TBS)、夢の扉(TBS)、すまたん(読売テレビ)など、数々の番組で取り上げられました。

SLEEP SCOPE 原寸大

手のひらサイズの高性能睡眠脳波計



SLEEP SCOPE 利用実績

宇宙航空研究開発機構(JAXA):国際宇宙ステーションにおける宇宙医学実験(古川飛行士2011年、星出飛行士2012年)

国立極地研究所:第50・51次南極越冬隊(JAXAとの共同研究)、第53次南極越冬隊

大学:医学部、薬学部、歯学部、看護学部、情報工学部、人間科学部、生活環境学部、体育学部、医療保健学部

医療機関:心療内科、精神科、耳鼻咽喉科、内科、小児科、脳外科、歯科、皮膚科、泌尿器科、睡眠クリニック、人間ドック、企業の健康診断

医薬品開発:睡眠薬、向精神薬、鎮痛薬、痒み止め、糖尿病薬など

快眠関連:食品、飲料、薬品、化粧品、香料、家庭用品、住宅設備(空調、照明など)、寝具、家電、医療機器、ホテル、温泉・入浴、ミストサウナ、TV番組制作など

〈医療機器・業許可〉

- 第二種医療機器製造販売業許可番号 27B2X00264
- 医療機器製造業許可番号 27BZ200229
- 高度管理医療機器等 販売業貸業許可番号 N06234号

〈医療機器・薬事認証〉

- スリープスコープ(脳波計)
医療機器認証番号:225ADBZX00020000
- スリープスコープ睡眠脳波解析プログラム(SEAS-G)
医療機器認証番号:227ADBZX00087000

睡眠科学を手のひらに

スリープウェル株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-9 三栄ビル7階
TEL.06(6450)8787 FAX.06(6450)8784 <http://sleepwell.co.jp>

お問い合わせ先: info@sleepwell.co.jp


SleepWell